

**令和6年度地域団体商標等を活用したブランディング支援事業
奈良酒アクションプラン（奈良県酒造組合）**

課題

「各蔵が独自の銘柄を発展させてきた」という多様性

OEMからの脱却が周りの地域よりも遅れたため、
生き残っていくために各蔵が独自の味を追求してきた歴史がある。

その多様性を奪いかねない 「統一されたブランドによるイメージの均質化」

多様な味がある奈良酒であるが、
地域ブランドとして統一する何がが 필요한のかは
慎重に見極める必要がある。

これまでの振り返り

これまでの振り返り

奈良酒は一般受けを狙わず、
旨い！を蔵ごとに追求してきた酒である。

<セッション内容>

- ・ OEM脱却のための独自路線戦略
- ・ 真面目に独自路線を進み続けている蔵が生き残っている
- ・ 売りたいものより、まずは自分の作りたいもの
- ・ 好き嫌いが分かれるお酒であり、逆に自分の好きな酒を見つけていく
- ・ 奈良酒は数字で測りきれない旨みがあり、日本酒のすべての味わいがある
- ・ これが本物という味を飲んでほしい

これまでの振り返り

いろんな味がある奈良酒を
奈良の文化と共に楽しんで欲しい。

<セッション内容>

- ・ 辛口好きが日本酒通という風潮を変えていきたい
- ・ FFJではない違う尺度が欲しい
- ・ 今の日本酒の味はイメージでしかない
- ・ 料理と一緒に楽しんでほしい
- ・ あえて昔の作り方に戻っている傾向にある

アイデンティティ／ビジョン

アイデンティティ

我が道をいく酒

ビジョン

地域の文化をつなぎ
共に発展できるようなブランド力の実現

日本酒とは

日本酒の味の指標である「日本酒度」「酸度」について。

縦軸横軸だけでなく斜めにも軸が存在する。微妙な味の区分分け。

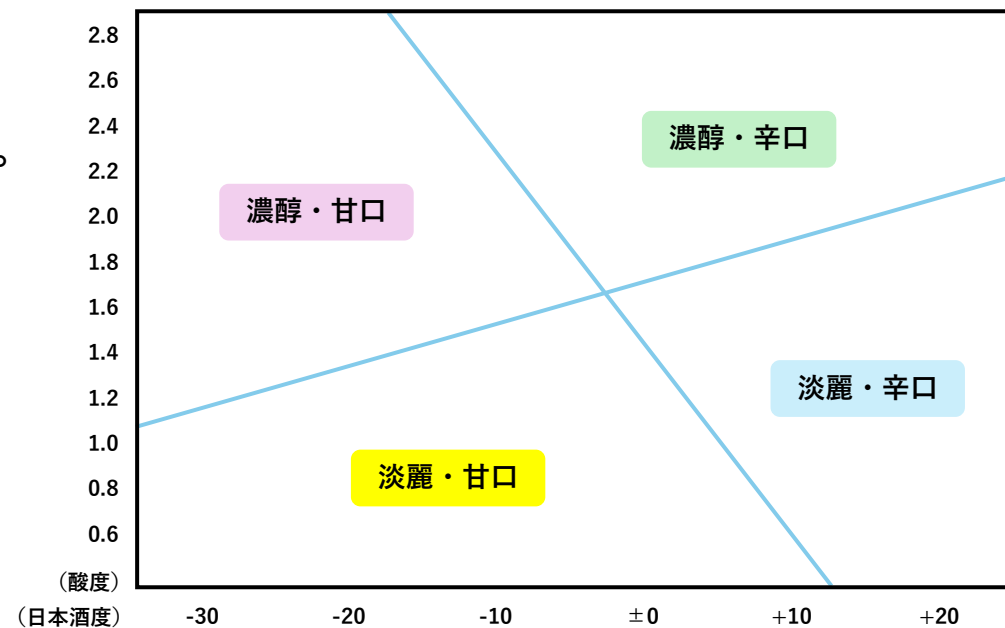
= 指標はありつつ、人によって味の感じ方も変わる。

さらに、日本酒がわかりにくい理由としては、

味が杜氏に紐づいているからであり、仕込み方が関係している。

それに対して、ワインは葡萄に紐づいていて、

味の指標に関してもわかりやすい。



日本酒とは

日本酒の味は正直わからない。

だからこそ、その差異を楽しむことはできないだろうか？

基準に当てはめるのではなく、自分の基準で楽しむ。

いろんな味があるのが奈良酒の特徴だとしたら、

それをポジティブに楽しんでほしい。

コンセプト

アート鑑賞のように楽しむ日本酒

我が道を届けるために、アートと名づけ直しているだけであり、アートを分解してみると奈良酒の要素に近い。

アートはコンセプトが求められる物である。

アーティストが杜氏で、その手で作られるアートが日本酒。

奈良酒では「我が道」を行き、それぞれの蔵でコンセプトを持ってつくっている。

また、アートはいろんな解釈があり、人によって感じ方違うし、

みんなそれぞれ見る視点楽しみ方も自由。

20年前から我が道を突き詰めてきたからこそ、アート文脈が謳っていける。

アートは味を楽しみましょうではなく、経済や理想、夢、歴史歴考え方がを理解してもらうものである。

コンセプト達成のための具体的な施策



NARASAKE MODERNISM

奈良酒モダニズム

具体的な施策

NARA SAKE MODERNISM

～奈良酒モダニズム～

日本酒の深い味わいと、アートの自由な表現が出会うひととき。

受け継がれてきた伝統と、新しい感性が静かに溶け合い、心地よい余韻が広がる空間が生まれます。

一粒一滴に込められた職人の技と、鮮やかな色彩。

見て、感じて、味わうことで、日常に小さな驚きと発見が訪れます。

日本酒とアートが織りなす、新しい物語へ、ようこそ。

モダニズム：産業革命などを契機に生まれた“モダニズム”。古いものを投げ捨てて、新しいものを取り入れたアートの歴史。

奈良酒では古いものを捨てるだけでなく、伝統は大切にしながら新しい文化を作っていく意味を込めています。

NARA SAKE MODERNISM

～奈良酒モダニズム～

NARASAKE MODERNISMという運動を改めて行なっていく。

アートで新しくつくるのではなく、奈良酒／日本酒の解釈を変える。

モダニズム＝運動であり、奈良酒を広めていく広報活動のことを「運動」として捉え直すこと。

＝モダニズムはビジネスモデル

NARA SAKE MODERNISMとは

過去の歴史が土台に

菩提酛などのトラディショナルなことへのリ
スペクトをしっかりと説明する必要がある。
その上で、昔のいろんな作り方があって、そ
こが土台で今がある＝モダニズム
＝ちゃんとこれまでの文化を伝えていく。

発祥の地から新たな文化を

奈良は日本清酒発祥の地。
その発祥の地で、1周回って、もう一度奈
良から新しい日本酒文化（モダニズム運
動）が始まる。
2周目のスタートももちろん奈良で。

行き詰まった時は、何かしらアーティストが立ち上がって動く。それが人間の歴史だった。

新しい日本酒の歴史も奈良（のアーティストたち）から始まる。

今後の展開について

①PR/広報として特設サイト制作およびバナー広告を実施

目的：奈良酒の新たな取り組みと各蔵元の認知向上



<https://yamato-umazake.com/narasakemodernism/>



今後の展開について

②奈良酒ならではのツーリズム

目的：アートを楽しむように奈良酒を楽しんでもらう



ツーリズムの考え方

これまでの蔵見学	奈良酒モダニズムの蔵見学
蔵の紹介	蔵の成り立ち／製造への想い
作り方の紹介	関連する地域への訪問
試飲	地域の食などと一緒に楽しむ酒

これまでの蔵の紹介や製造方法の紹介だと、その蔵や日本酒に興味がある人が喜ぶ内容になっている。なので、知らない人でもアート作品の解説を見るかのように楽しんでもらえるために、裏側にある物語を見せてあげる施策を行なっていくことが効果的である。

ツーリズムの考え方

STEP 01 →

プレゼンテーション

歴史や哲学、思想・想いなどを伝えて、日本酒の製造方法などではなく、この蔵がどんな蔵で何を目指して、どう進んできているのかなど、お酒の奥底にある想いを伝えていく。

STEP 02 →

見学

源流や井戸、周辺文化などを紹介し、日本酒の奥にあるストーリーを感じてもらう。

STEP 03 →

体験

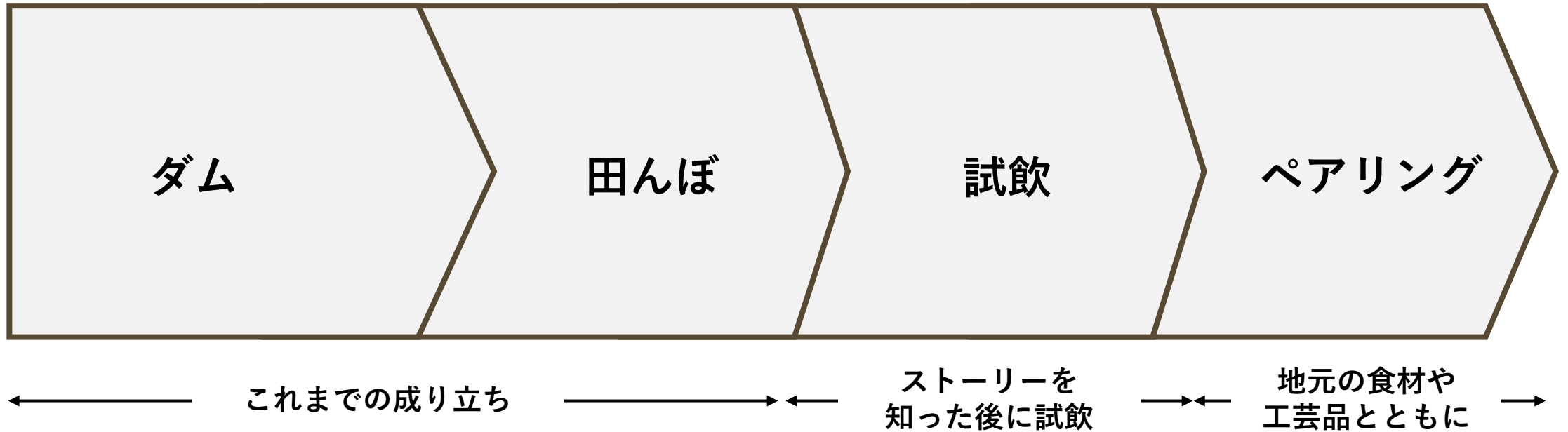
実際に日本酒と共に地元の食材を使った料理や酒器（工芸品）などと合わせて、日本酒の味だけでなく、日本酒を起点にして周辺文化との繋がりも感じてもらう。

＝奈良酒が中心になって、地域、食、文化、人を繋いでいくような存在へ

ロールモデル

【久保本家酒造】

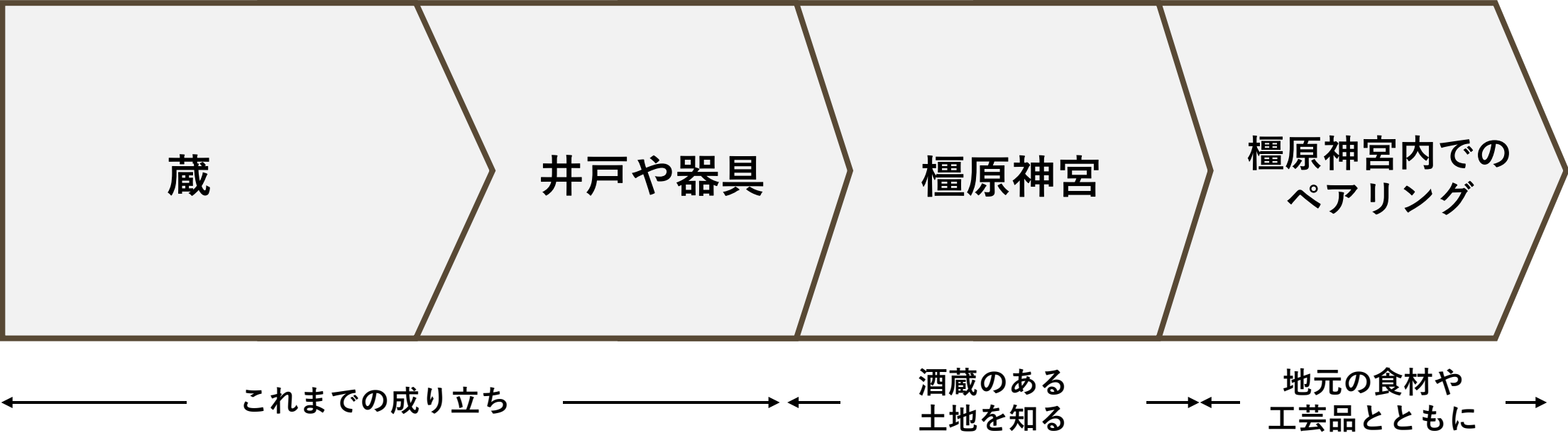
源流があるダムから使っている米、
実際の酒、地元食材とのペアリングと、歴史から今に繋げていく



ロールモデル

【喜多酒造】

これまでの歴史と周辺の文化との融合

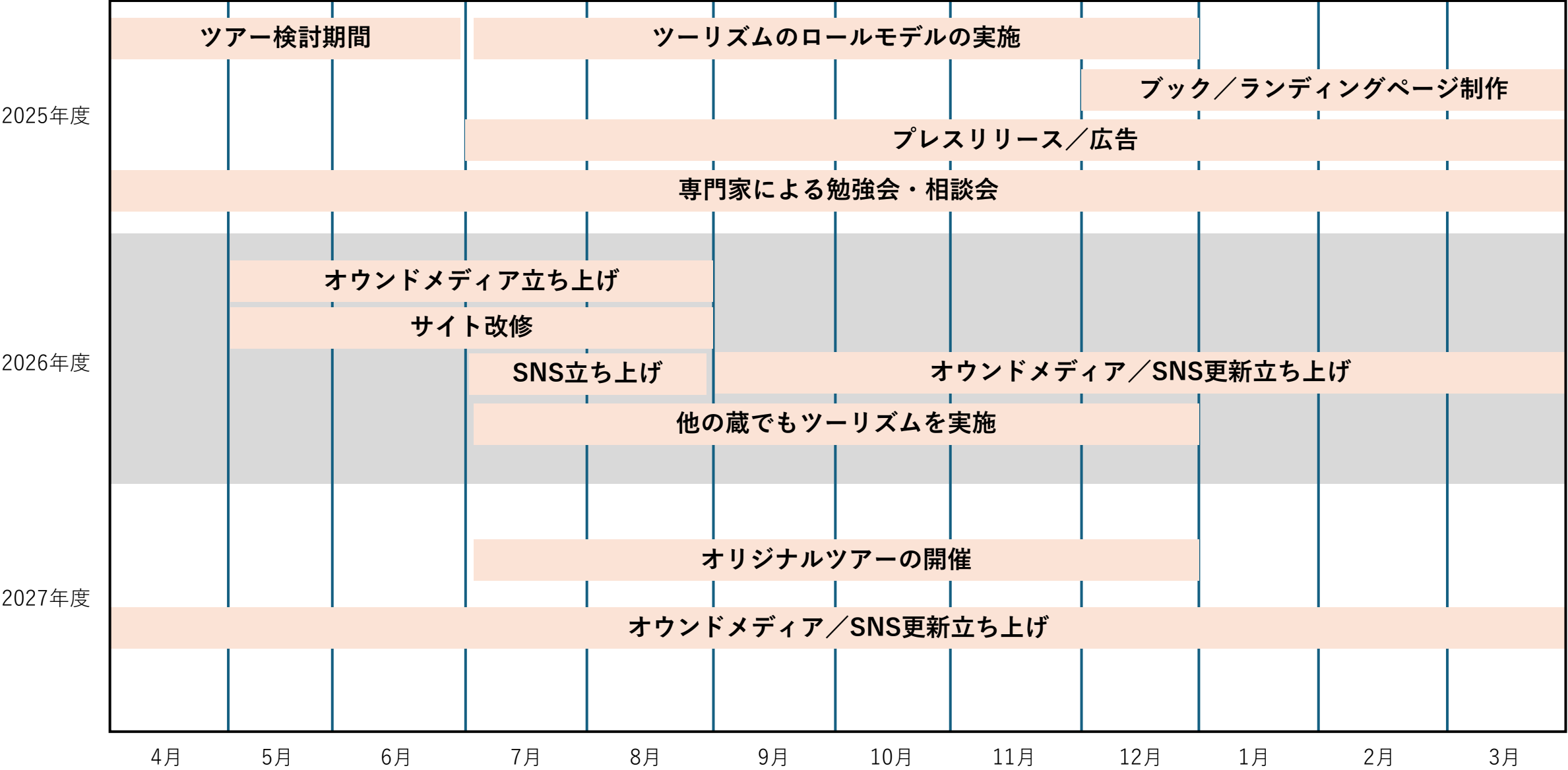


アクションプランについて

取り組みの計画案

2025年度 テーマ：基礎づくり	2026年度 テーマ：拡散	2027年度 テーマ：ブランドの確立
・ ツーリズムのロールモデルの実施 ・ 観光協会との連携 ・ 奈良酒のブランドブック制作 ・ 告知ランディングページ制作 ・ デジタル広告配信 ・ 専門家による勉強会・相談会 ・ プレスリリース／メディア連携	・ 酒造組合SNS開設 ・ オウンドメディア立ち上げ ・ ホームページ改修 ・ オリジナルツアーを実施する蔵を増やす ・ 専門家による勉強会・相談会 ・ プレスリリース／メディア連携	・ オリジナルツアーの主催開催 ・ SNS、オウンドメディア更新 ・ 専門家による勉強会・相談会 ・ プレスリリース／メディア連携
目標： ・ ロールモデルによる基盤の構築 ・ 次年度以降の拡散のための基盤の構築	目標： ・ 内部へのモダニズムの浸透 ・ 外部への拡散	目標： ・ 奈良酒ブランドの確立 ・ 日本酒の新基準の浸透

スケジュールイメージ



制作物イメージ

■ブランドブック

杜氏さんや各酒蔵を写真集のようにまとめたオリジナルのアーティストブック。

蔵元のオリジナルのビジュアルは使いながら、味のこだわりなどをアーティストのコメントとしてピックアップ。一般の人の味の感想も色やキャッチコピーなどで表現し、蔵元の紹介として活用していくことで、ブックを読むことで奈良酒のこだわりや多様性などを感じることができる。

■奈良県酒造組合SNS / オウンドメディア開設・運用

奈良県酒造組合としてInstagramなどのSNS、記事をためるためのサイトとして、オウンドメディアを開設し、27蔵全体のPRをしていくとともに、これからの動きを常に発信し続け、奈良酒のブランドを確立していくとともに、世の中に認知させていく。

- ・各蔵元をイラストを使いながら、甘口辛口ではない新しい表現で紹介していく
- ・奈良酒のイベント情報／ツーリズム情報
- ・地域、歴史の紹介（奈良の歴史、食、工芸品、宿など地域全体をPR）

■奈良県酒造組合主催オリジナルツアー

新しいツーリズムを実施する蔵元が増えてきたら、組合主催でそれぞれの蔵を繋ぐようなオリジナルのツアーを開催。

例えば、5つの日本酒を飲んでもらって、気に入った日本酒を作っている蔵元へとツアーを実施する。

蔵元のイメージではなく、自分の感性でより興味のある蔵元へ訪問してもらい、そこでこれまで行ってきた奈良酒モダニズムオリジナルのツアーを実施し、理解を深めてもらう。

